

# 奈良県立大学附属高等学校令和7年度研修旅行 プロポーザルにかかる企画提案の評価等について

## 1. 概要

奈良県立大学附属高等学校令和7年度研修旅行に応募のあった提案者について、提出された企画提案書により審査を行い、以下のとおり評価し、最優秀提案者を選定する。

## 2. 評価の流れ

「奈良県立大学附属高等学校校外活動検討委員会」（以下、「検討委員会」という。）において、下記3の検討委員会審査員（以下、「審査員」という。）が下記5の「評価基準表」に基づき、事業者から提出のあった企画提案書の評価を行う。各審査員の評価に基づき算出する得点の合計が最も高い者を最優秀提案者として選定する。

## 3. 検討委員会審査員

検討委員会は、次の審査員で構成する。

- ・教頭
- ・事務長
- ・学務部長
- ・学生部長
- ・当該学年主任
- ・研修旅行委員代表生徒 2名

## 4. 評価方法等

### (1) 評価方法

① 下記の評価項目<1>~<6>について、審査員は下記5「評価基準及び得点化方法」により「A~F」の6段階の評価を行う。各評価項目の配点に基づき得点を算出する。

評価項目<7>については、見積金額に応じて「評価基準表」中に記載の得点とする。

② ①で算出した点数の合計得点のうち、最も高い得点を獲得した者を最優秀提案者として選定する。

### (2) その他特記事項

- ・2者以上の最高得点が同点の場合は、低い評価の少ない者を受託者とするが、その方法によっても決められない場合は、見積価格の低い者を最優秀提案者とする。
- ・提案者が1者の場合は、合計点数の6割以上の得点を獲得しなければ最優秀提案者となれないものとする。
- ・評価項目<1>~<6>について、審査員の評価において「F」があった場合は、該当する企画提案者は最優秀提案者と認められないものとする。

評価基準	評価	得点化方法
極めて高い／特に評価できる	A	配点×1
やや高い／評価できる	B	配点×0.8
普通／標準的である	C	配点×0.6
やや低い／あまり評価できない	D	配点×0.4
低い／不十分	E	配点×0.2
評価できない	F	配点×0

## 5. 評価基準表

<評価基準及び得点化方法>

・評価項目<1>～<6>

評価項目	審査対象となる提出物	配点
<b>研修内容に関する項目</b>		
<1>生徒の興味関心に応じた対応が見込めるか。	自由様式	15点
<2>学校が設定した実施の目的達成を見込めるか。	自由様式	15点
<3>仕様外の有用と思われる追加提案があるか。(独自性)	自由様式	15点
<b>小 計</b>	<b>45点</b>	
<b>実施体制に関する項目</b>		
<4>研修旅行を実施できる人員及び体制が整っているか。	自由様式	15点
<5>トラブル発生時のサポート体制が整っているか。	自由様式	15点
<6>宿泊先、交通手段、日程等妥当であるか。	行程表	15点
<b>小 計</b>	<b>45点</b>	
<b>見積価格に関する項目</b>		
<7>業務を実施するうえで見積価格が妥当であるか。	見積書	10点
<b>小 計</b>	<b>10点</b>	
<b>合 計</b>	<b>100点</b>	

・評価項目<7>

契約上限額(120千円)以下の有効な見積を評価対象とする。

見積価格が契約上限額から2千円下がるごとに1点ずつ加点する(上限10点)。

見積価格	得点
118千円を超え契約上限額120千円以下	0点
116千円を超え118千円以下	1点
114千円を超え116千円以下	2点
112千円を超え114千円以下	3点
110千円を超え112千円以下	4点
108千円を超え110千円以下	5点
106千円を超え108千円以下	6点
104千円を超え106千円以下	7点
102千円を超え104千円以下	8点
100千円を超え102千円以下	9点
100千円未満	10点